

今回のテーマは2つです。

最初は search と search for。よく辞書にはこう書いてあります。

①search A(場所) :Aを探索する

②search for A(物):Aを捜す

これではなんとも覚えにくいですね(^\_^X)。これを一発解決する方法を紹介しましょう。

for は「Aを求めて」という意味があることはよく知られていますが、「Aを求めて」いるということは、現実にはAはそこにはないということでもあります。つまり for は「(現実にはまだ目の前にはない)Aを求めて」ということになるのです。だから search for A は「(現実に目の前にはない)Aを(求めて)捜す」という意味になります。

(ex) The police are searching for the missing child.

警察は行方不明になった子を探している

We searched for the lost dog. 行方不明の犬を探した

search A といった場合は、Aが現実にそこにあり、そのAを(検索場所として)調べるということになるのです。

(ex) I've searched all the drawers. 私は引き出しを残らず探した

The police searched a house. 警察は家宅捜索をした

I searched my pockets for the key. カギはないかとポケット探してみた

The policeman searched him. 警官は彼の身体検査をした

さてそれでは2つ目のテーマです。会話文問題の中で、受験生が特に苦手とする分野の攻略法を伝授します。

皆さん、会話というのは基本的に「Q & A」で成り立っているということは理解できますね。つまり質問とその応答の繰り返しが会話なのです。そしてこの「Q & A」は、基本的に同じ表現（形）の繰り返しになっているのです。これは日本語でも同じで、例えば、

Q：君はジャイアンツは好きかい？

A：いいや僕は最近のジャイアンツは好きになれないな。

この会話をみてもわかる通り、

- ①主語（君＝僕）
- ②動詞（好き）
- ③目的語（ジャイアンツ）

と、すべて同じ形の繰り返しになっているのがわかりますね。そして会話にはこんな(暗黙の)ルールが存在します。

「その前に話した人のセリフと自分のセリフが同じ形の繰り返しになる所は、その一部（又は全部）を省略していい」

これは日本語でも同じ。友達に「昨日タイガースは巨人に勝ったかい」と聞かれて、いちいち「昨日タイガースは巨人に勝ったよ」と答える人はまずいませんね。「勝ったよ(あるいは「負けたよ」)」と一言で答えるはずです。つまり繰り返しになる箇所は省略します。英語でもそれは全く同じなのです。

(ex) A: Why did you put the dishes away?

B: So that no one will break them.

Bのセリフには文の骨組みになる「S+V」がありませんが、これはその部分がAと同じだったから省略されていると考えればいいのです。つまりBのセリフにAと同じ、「S+V」を補えば、

→ I put the dishes away so that no one will break them.

私は、誰もそのお皿を壊すことのないよう片づけた

となります。

こんなふうに、意味の通らない(文構造の一部が欠けている)セリフに出会ったら、十中八九直前のセリフとの繰り返しを避けるための省略によるものだと見なしていいのです。

会話においてはこの「同じ形の繰り返しを避けるための省略」が本当に多用されます。カンタンな例を実際のセンターの問題から拾ってきました。下線部の英文に何が省略されているかわかりますか？

(1) A: You want to get to the Folk Museum? I'll show you, if you like.

B: Could you? That's be great.

(2) A: We had terrible weather during our vacation.

B: Did you?

(3) A: What's the matter? Don't you like the soup?

B: Well, not very much.

#### 《解説》

下線部はすべて「不完全な文」。つまり何かが省略されていると考えられる。

(1)と(2)の下線部は、本来その後に「動詞の原形」がくるはず。そこで直前の英文から動詞をさがしてそれを補ってみればいい。(3)は「S+V」がない。そこでこれまた直前の英文から入りうる「S+V」を補ってみればいい。

#### 《解答》

(1) (Could you) show me?

「私を案内してくれるんですか ⇒ ほんとうですか」

(2) (Did you) have terrible weather during your vacation?

「旅行中、ひどい天気だったんですか ⇒ ほんとうですか」

(3) I do (not) like the soup (very much).

「そんなにそのスープ好きではないんです」

では最後に、実際のセンターの問題を解いて締めとしましょう。今回の卒業試験です(^-^)

A: Jane, dear, this dessert you brought to the party is delicious!

B: Thank you, Grandma, but I don't think many others like it.

A: Why do you say that?

B: ( )

A: It won't be for long.

- ① Do you really like it?                      ③ It's all gone.  
② I don't think so.                              ④ Most of it is still left.

### 【解答&解説】

まず空欄の前のA (grandma)のセリフが Why と「理由」を尋ねている。ということはB (Jane)はその「理由」を答えるはずだ。そうすると①と②は最初から答えからはずれる(両者とも全く「理由」になっていない)。答えは③か④。

次に空欄の後のA (grandma)のセリフに着目する。

It won't be for long.

このセリフ、これだけでは意味が通じない。つまりなにか省略があるのでは?と気付けるかどうかポイント。先程も言ったように、会話における省略は、ほとんどが前の人物のセリフと同じ形の繰り返しがあつた場合に生じる。そこで、このA (grandma)のセリフのbe動詞の後ろが意味不明だから、そこに選択肢の③と④の(同じbe動詞の後ろの)語句を補って省略のない形を再現してみる。すると、

③(It's all gone)の場合

→ It won't be all gone for long.

長い間、それ(そのデザート)が全て無くなってしまふことはないだろう

※省略を補っても意味不明。

④(Most of it is still left)の場合

→ It won't be still left for long.

それ(そのデザート)が依然として長いこと残っていることはないだろう ⇒ すぐに無くなってしまおう

となり、意味が通じるのは④の方。したがって正解は④となるわけだ。

#### 問題文訳

A : 「まあジェーン、あなたがパーティーに持ってきてくれたデザートとてもおいしいわよ」

B : 「ありがとう、おばあちゃん。でも他の皆は好きじゃないみたい」

A : 「どうしてそんなこというの」

B : 「まだほとんど残っているんだもの」

A : 「すぐに無くなってしまおうわよ」